

トヨタ純正

サイドエンブレムイルミネーション

取付要領書

このたびはトヨタ純正サイドエンブレムイルミネーションをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はサイドエンブレムイルミネーションの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ず
お読みいただき、正しい取り付けを行ってください。別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

※用品サイドバイザーを同時装着する場合は、必ず用品サイドエンブレムイルミネーションを先に取り付けて
ください。用品サイドバイザーを先に取り付けると、用品サイドエンブレムイルミネーションを取り付けるこ
とができません。

品 番

①	08534-58011	STD仕様
②	08534-58021	AERO仕様

構成部品

サイドエンブレムイルミネーションセット				
No.	品 名	品 番	個 数	
			①	②
①	サイドエンブレムイルミネーション RH (STD)	08534-58030	1	—
	コネクター (濃灰色)		1	
	クランプ		2	
②	サイドエンブレムイルミネーション RH (AERO)	08534-58050	—	1
	コネクター (濃灰色)		—	1
	クランプ		—	2
③	サイドエンブレムイルミネーション LH (STD)	08534-58040	1	—
	コネクター (濃灰色)		1	
	クランプ		2	
④	サイドエンブレムイルミネーション LH (AERO)	08534-58060	—	1
	コネクター (濃灰色)		—	1
	クランプ		—	2
⑤	電源ハーネス		2	2
⑥	コントロールユニット		2	2
⑦	クランプ		28	28
⑧	型紙 (R)		1	1
⑨	型紙 (L)		1	1
⑩	スポンジテープ		2	2
⑪	ピラーガーニッシュ RH	75755-V2010	1	1
⑫	ピラーガーニッシュ LH	75756-V2010	1	1
⑬	取扱書		1	1

取り付け上の注意事項

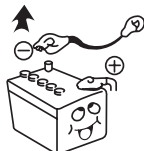
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ **注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
- 🔊 **アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) 付属（指定）のランプ、スイッチ、リレー、ハーネス等を改造したりしますと、車両火災等重大事故の原因となることがあります。
- (4) 車両との接続は、専用コネクター等の接続端子を使って、確実に接続してください。車両火災等の原因となることがあります。
- (5) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。
- (6) 車両部品の脱着及び車両への取り付け時の傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

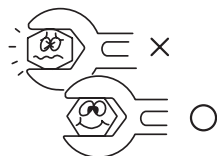
— 取り付ける前に —

- バッテリーの（－）側ケーブルをはずす

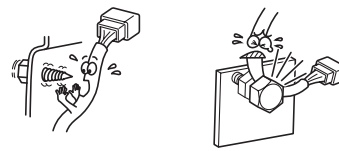


— 部品の取り付けは —

- 寸法にあった工具を使う

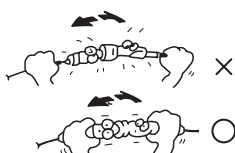


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



— 配線は —

- コネクターは本体を持ってはずす



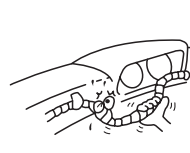
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



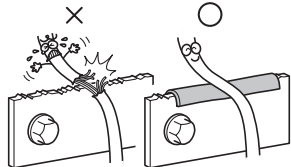
- コネクターは確実に接続する



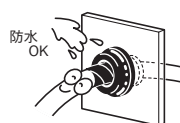
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



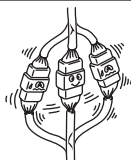
— クランプは —

- はだか線にはクランプしない

- 余った部分をカットする

- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する

- コネクターを異音がしないようにクランプする



— 取り付け完了後は —

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



⚠ 注意

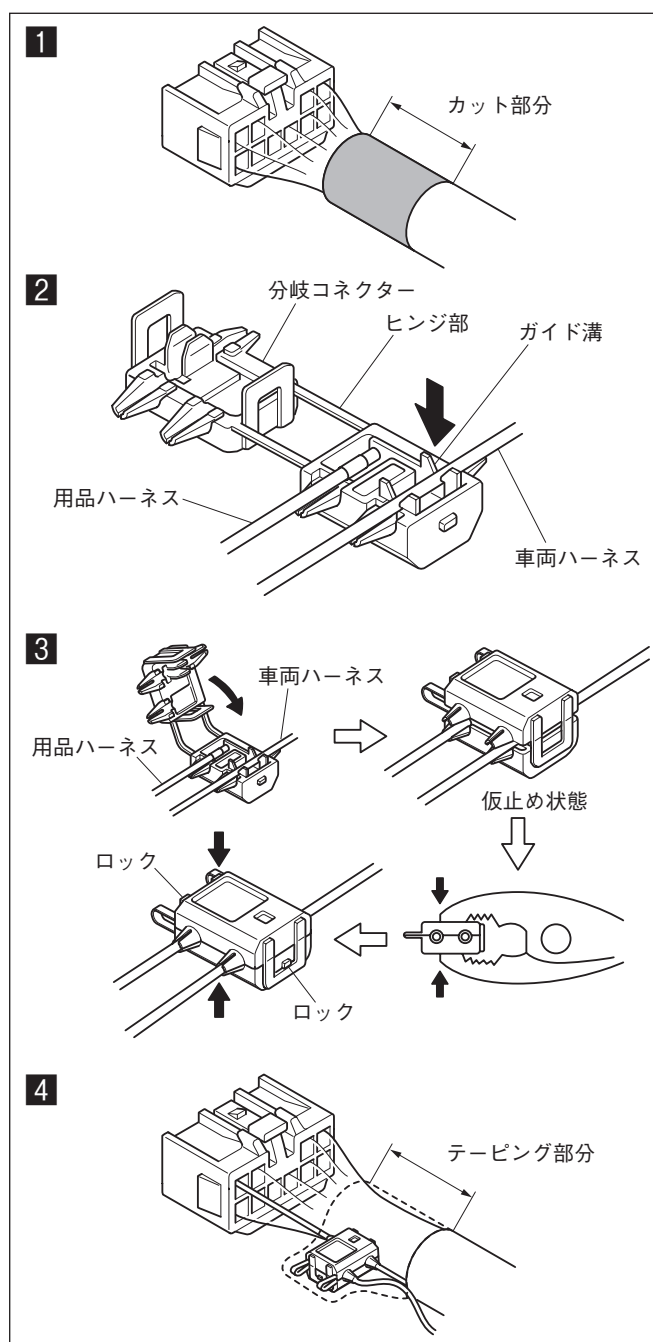
- ・ バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。
- ・ バッテリーの（－）側ケーブルをはずしてから、90秒間は作業を始めないでください。
エアバッグシステムは、バックアップ電源を備えている為、90秒以内に作業を開始するとエアバッグが展開する可能性があります。

分岐コネクタの接続方法

分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクタの接続手順



1 接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープ及びコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。

2 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

3 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）

4 分岐コネクタの異音防止のため、スポンジテープを巻いて処理してください。

取り付けに必要な工具等

・一般工具、樹脂リムーバー、クリップリムーバー、ニッパー、マスキングテープ、保護シート、電動ドリル（φ3）、ドライヤー、ホールソー（φ18）、ヤスリ、センターポンチ、ガムテープ、ビニールテープ、針金、マグネットハンド、掃除機、脱脂剤等、防錆剤、保護メガネ、ウエス、トヨタエレクトリカルテスター

・参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

ヘッドランプ、ホーン等、電気系統の作動 確認を実施してください。

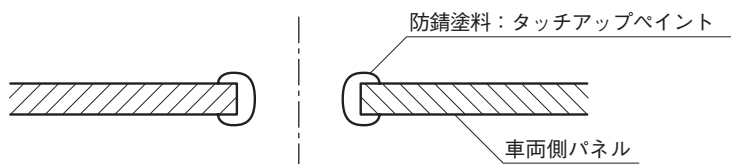
ボデー側穴開け加工部の防錆処理について

⚠ 注意

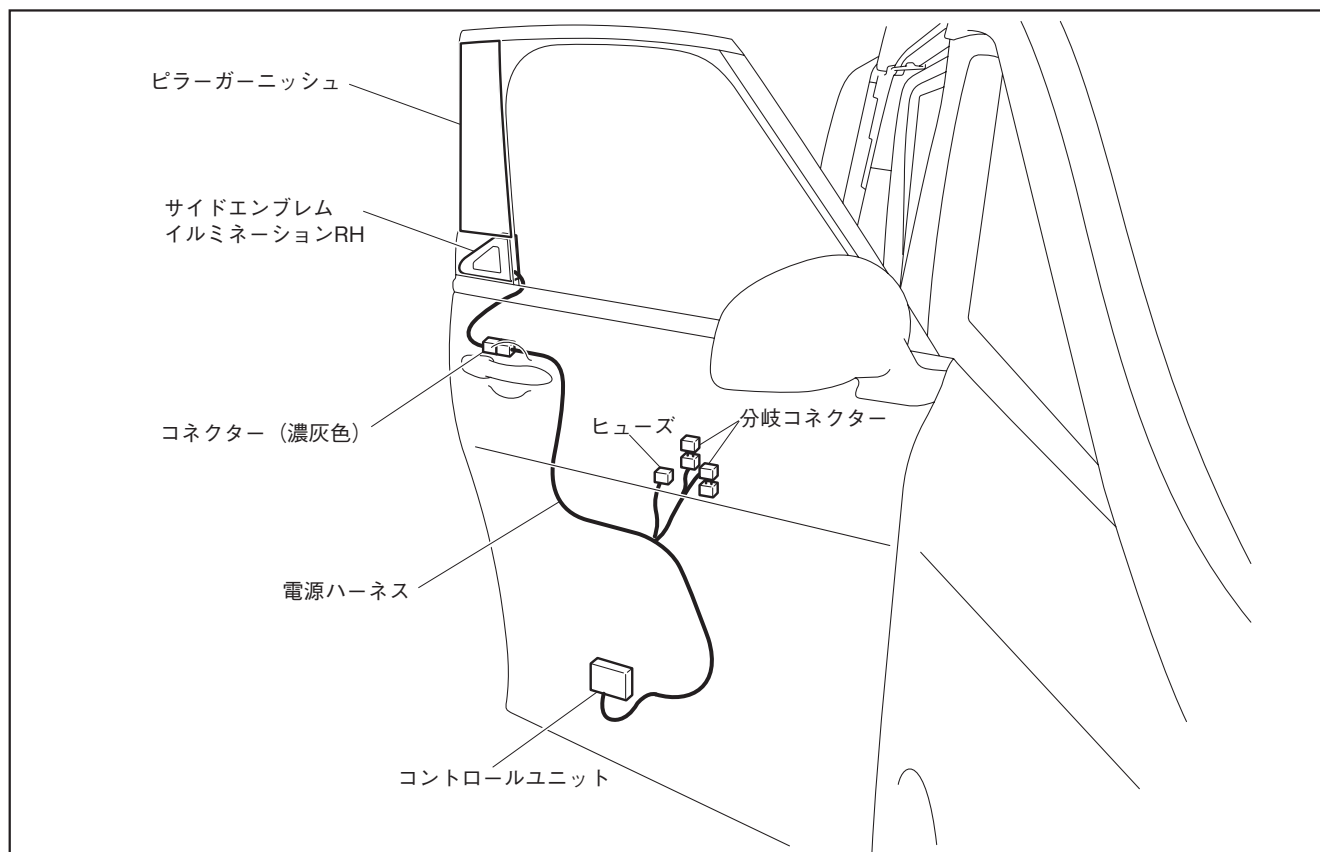
取付要領書本文中の防錆処理方法は、下記の作業手順により、確実に行ってください。

1. 防錆処理

- (1) 穴開け加工による切り粉を、掃除機で十分除去すると共に清掃してください。
- (2) 加工部のバリを取り除き、防錆塗料（タッチアップペイント）を切り口に塗布し十分乾燥させてください。

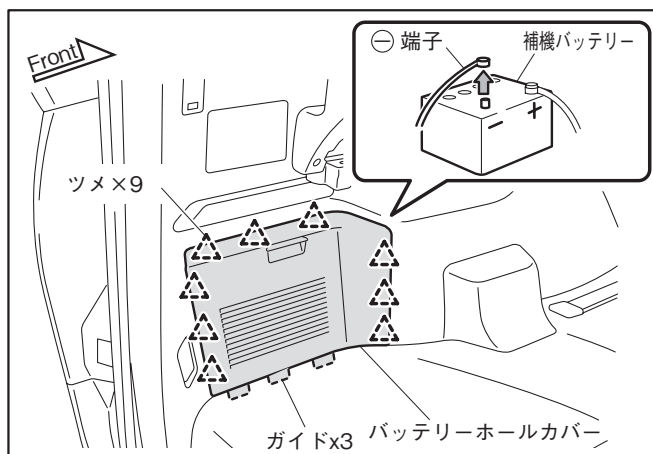


概要図



ST-BC-001a

車両部品の取りはずし



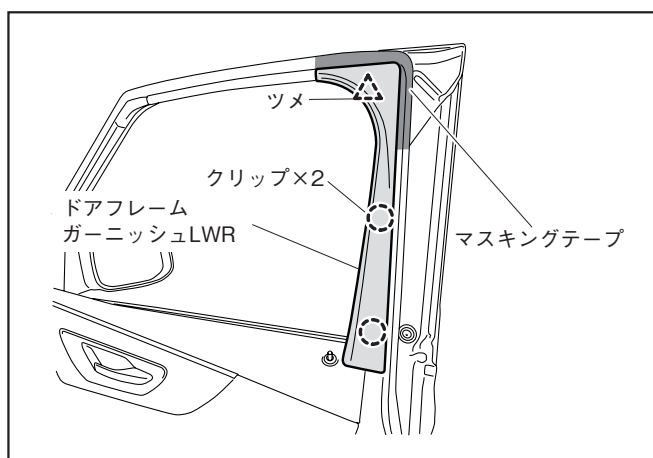
ST-BC-A01

バッテリー（－）端子の切り離し

1. ツメ(9箇所)及びガイド(3箇所)の嵌合をはずし、バッテリーホールカバーを取りはずす。
2. 補助バッテリーの（－）端子を切り離す。

アドバイス

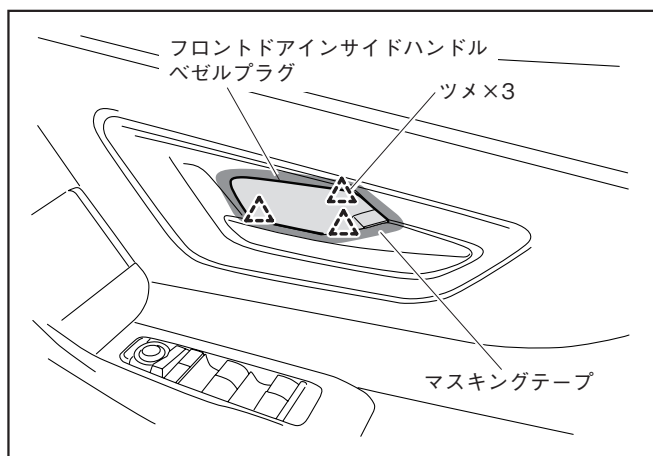
左図はハイブリッド車の場合を図示していますが、ガソリン車の場合は、エンジンルーム内にあるバッテリーの ⊖ 端子を取り離してください。



ST-BC-A03

ドアフレームガーニッシュ LWR の取りはずし

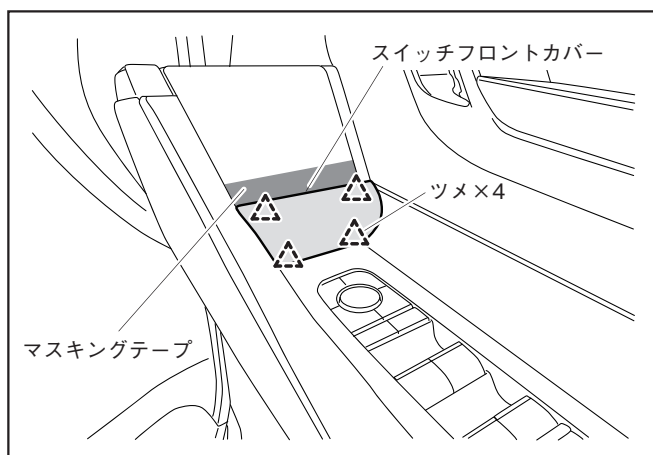
1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. クリップ(2箇所)及びツメ(1箇所)の嵌合をはずし、ドアフレームガーニッシュ LWR を取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A04

フロントドアインサイドハンドルベゼルプラグの取りはずし

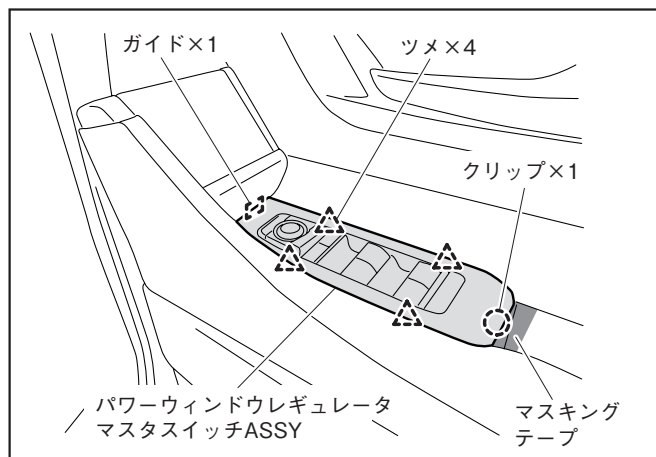
1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. ツメ(3箇所)の嵌合をはずし、フロントドアインサイドハンドルベゼルプラグを取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A05

スイッチフロントカバーの取りはずし

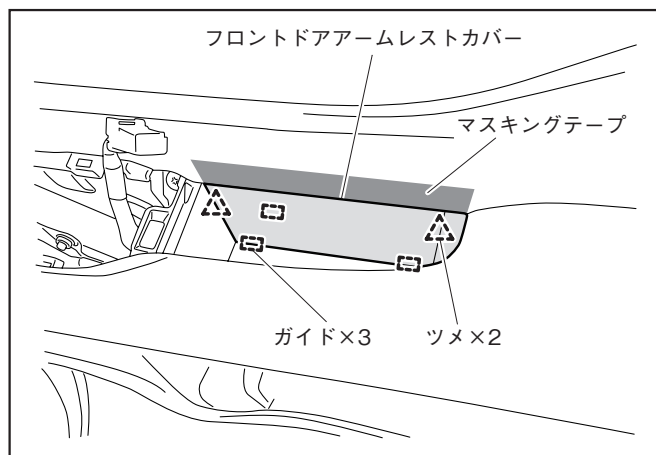
1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. ツメ(4箇所)の嵌合をはずし、スイッチフロントカバーを取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A06

パワーウィンドウレギュレータマスタスイッチ ASSY の取りはずし

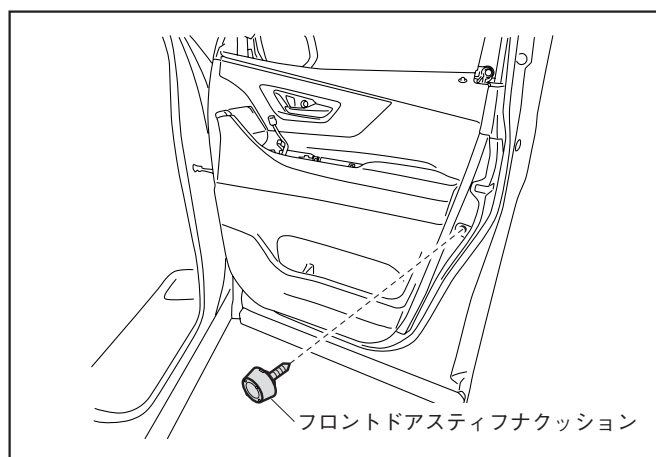
1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. ツメ (4箇所) 及びクリップ (1箇所)、ガイド (1箇所) の嵌合をはずし、パワーウィンドウレギュレータマスタスイッチ ASSY を取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A07

フロントドアアームレストカバーの取りはずし

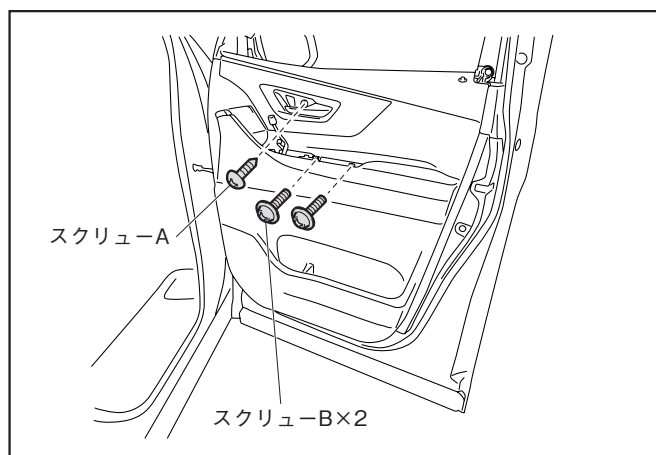
1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
2. ツメ (2箇所) 及びガイド (3箇所) の嵌合をはずし、フロントドアアームレストカバーを取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A08

フロントドアスティフナクッションの取りはずし

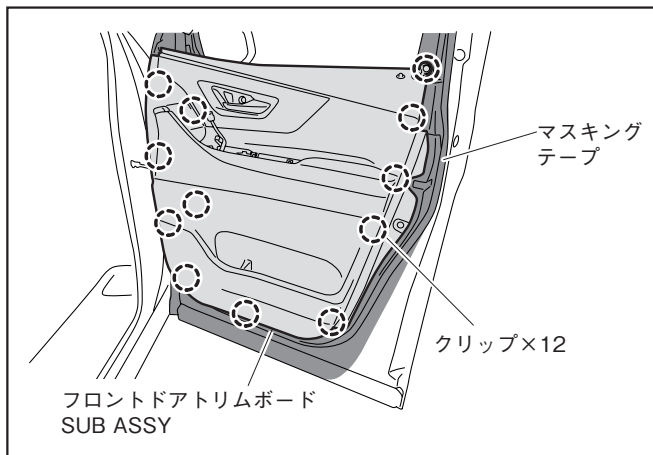
1. スクリュー (1本) をはずし、フロントドアスティフナクッションを取りはずす。
2. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A09

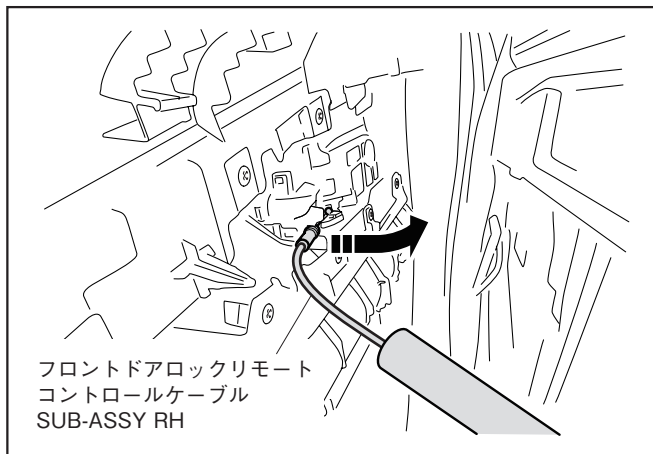
フロントドアトリムボード SUB ASSY の取りはずし

1. スクリュー A (1本) 及びスクリュー B (2本) を取りはずす。



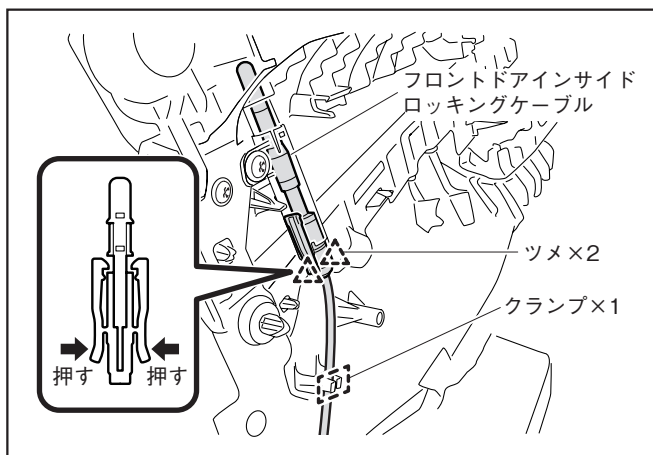
ST-BC-A10

2. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。
3. クリップ (12箇所) の嵌合をはずし、フロントドアトリムボード SUB ASSY を切り離す。



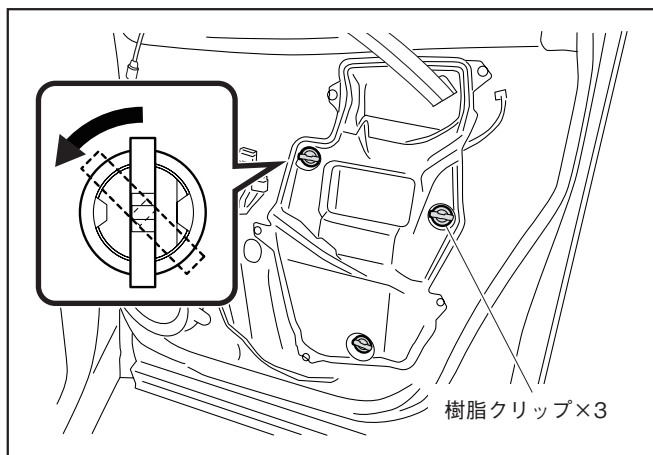
ST-BC-A11

4. フロントドアロックリモートコントロールケーブル ASSY RH をフロントドアインサイドハンドル SUB-ASSY RH から切り離す。



ST-BC-A12

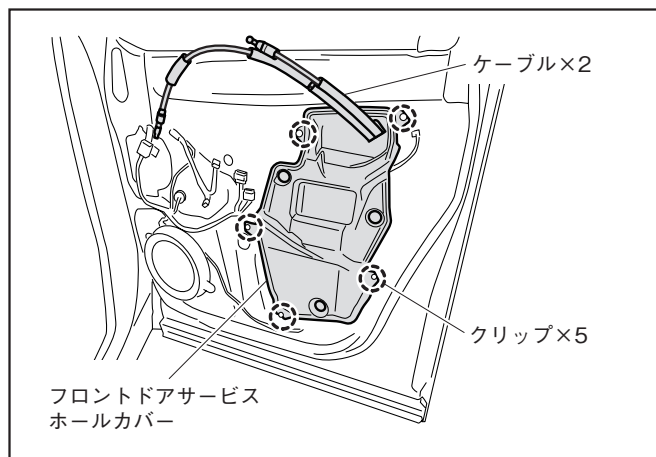
5. ツメ (2箇所) およびクランプ (1箇所) の嵌合をはずし、フロントドアインサイドロッキングケーブルを切り離しフロントドアトリムボード SUB-ASSY を取りはずす。
6. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-A13

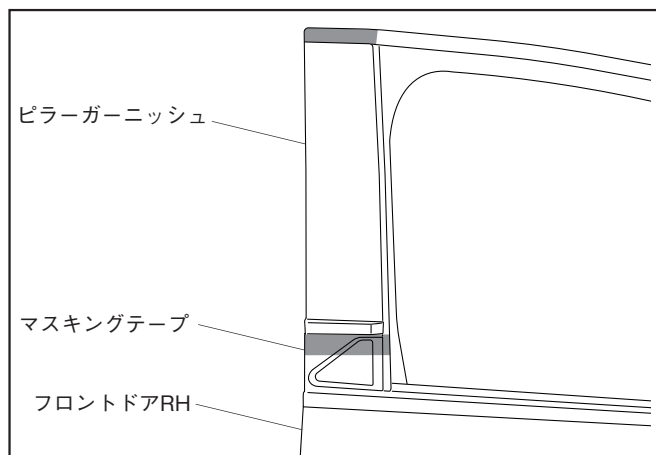
フロントドアサービスホールカバーの取りはずし

1. 図の矢印方向に 45° 回し、樹脂クリップ (3 個) を取りはずす。



ST-BC-A14

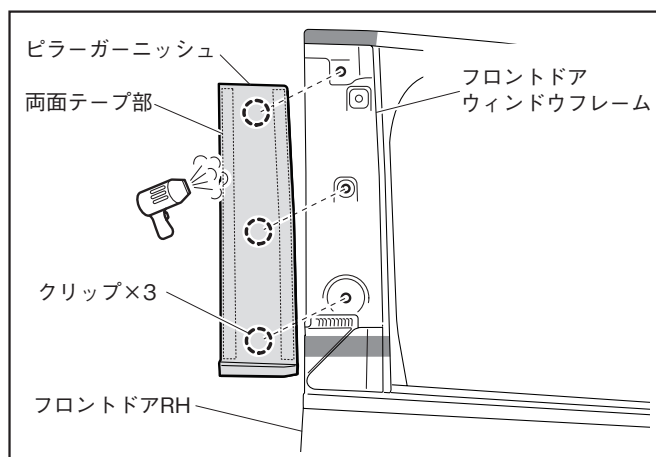
2. クリップ (5箇所) の嵌合をはずし、ケーブル (2本) を切り離しフロントドアサービスホールカバーを取りはずす。
3. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-B15

ピラーガーニッシュの取りはずし

1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。



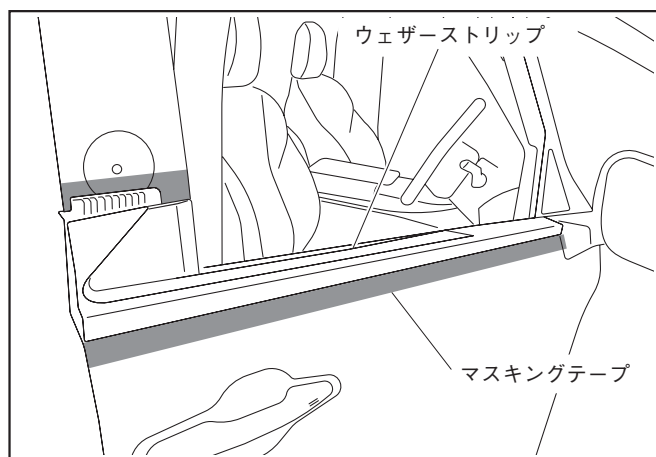
ST-BC-B16

2. クリップ (3箇所) の嵌合をはずし、ピラーガーニッシュを取りはずす。

アドバイス

ピラーガーニッシュがはずれにくいときは両面テープ部をドライヤー等で暖めてください。

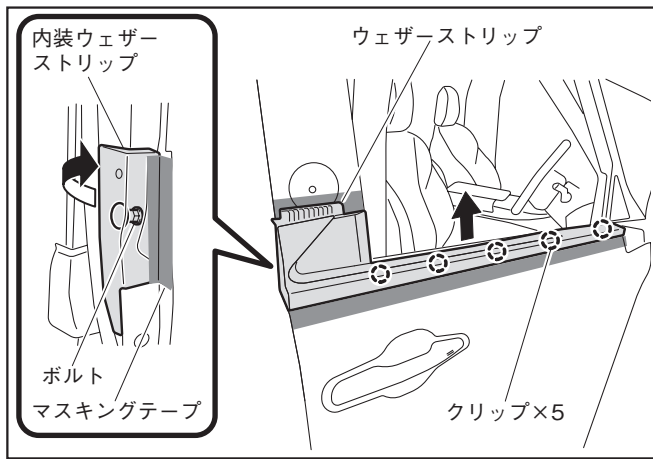
3. フロントドアウィンドウフレームに残った両面テープをきれいに取り除く。
4. LH 側も同様に作業する。



ST-BC-B17

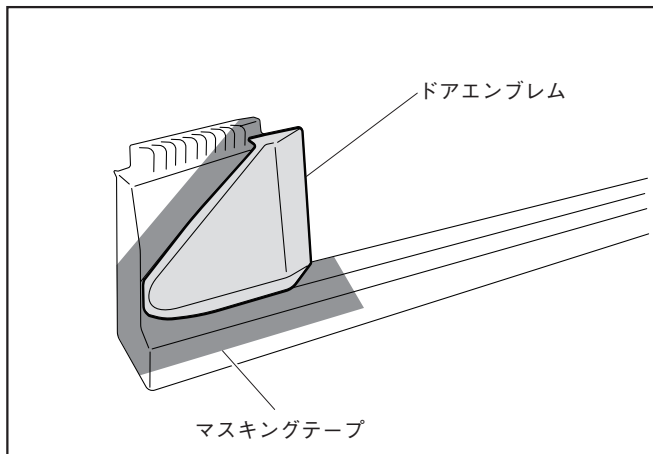
ウェザーストリップの取りはずし

1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。



ST-BC-B18

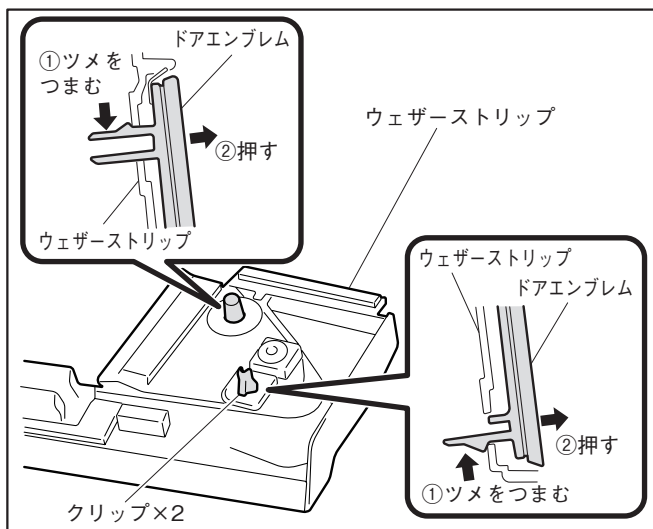
2. 内装ウェザーストリップの端をマスキングテープで固定し、固定した反対側からめくりボルト（1本）をはずす。
3. クリップ（5箇所）の勘合をはずし、ウェザーストリップを取りはずす。
4. LH側も同様に作業する。



ST-BC-B19

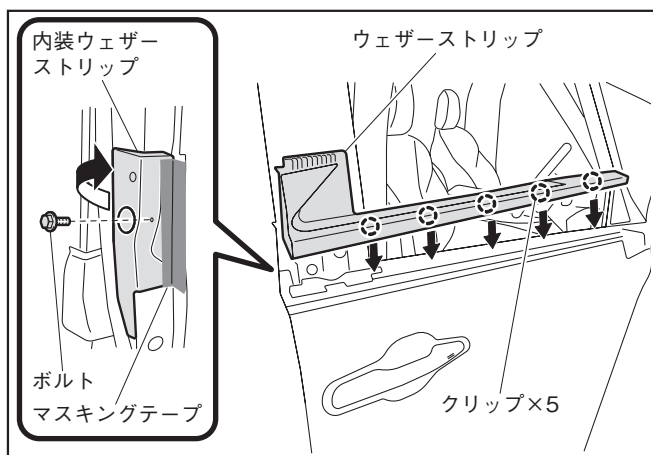
ドアエンブレムの取りはずし

1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。



ST-BC-B20

2. ウェザーストリップの裏側からドアエンブレムのクリップ（2箇所）の勘合をはずし、ドアエンブレムを取りはずす。
3. LH側も同様に作業する。

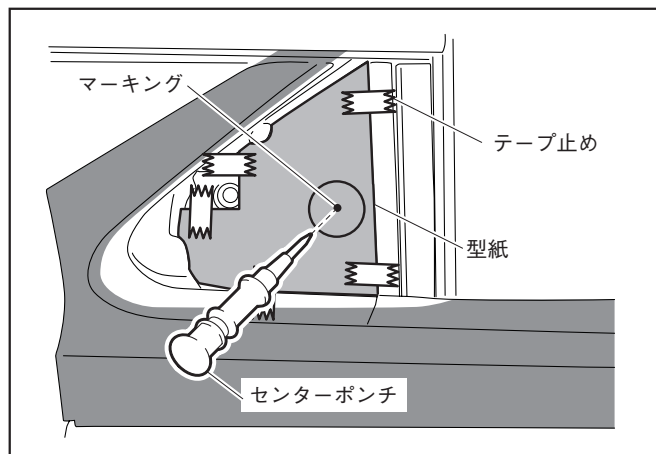


ST-BC-B10

ウェザーストリップの復元

1. クリップ（5箇所）を勘合させ、ウェザーストリップを取り付ける。
2. 内装ウェザーストリップの端をテープで固定し、固定した反対側からめくりボルト（1本）で仮固定する。
3. LH側も同様に作業する。

フロントドアの穴開け



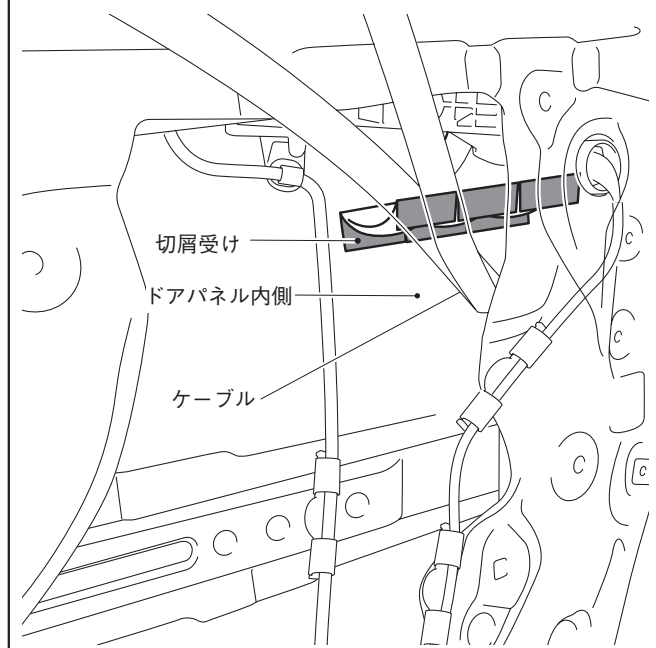
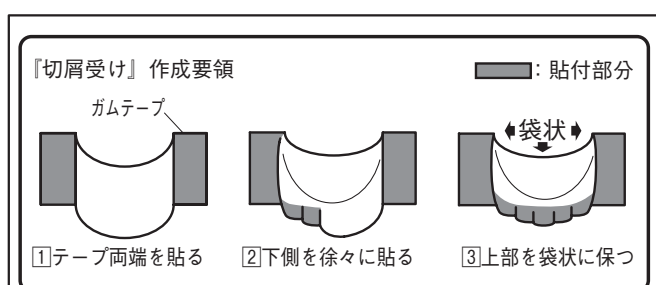
ST-BC-B01

車両部品の加工

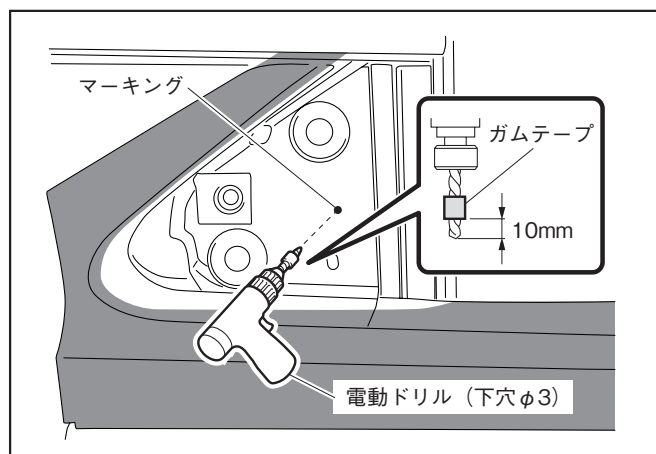
1. 型紙を貼り、図の位置にセンターポンチでマーキングする。
2. LH 側も同様に作業する。

⚠ 注意

フロントガラスは傷つきの恐れがあるため、全開状態で実施してください。



ST-BC-B02a



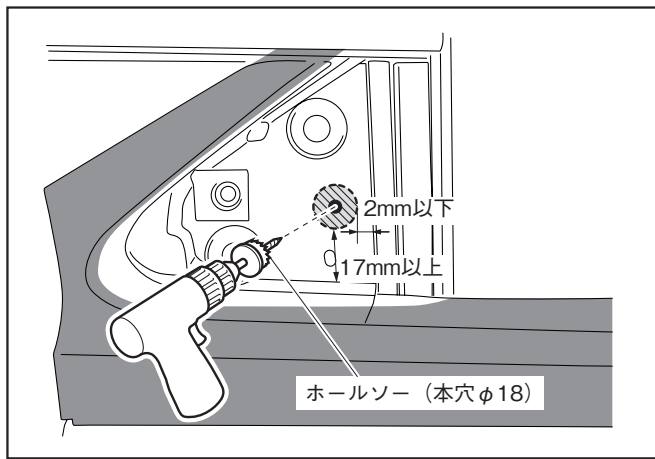
ST-BC-B03

3. 左図『切屑受け』作成要領に従い作成し、ドアパネル内側に貼り付ける。

⚠ 注意

フロントガラスは切屑を確実に受けるため、全閉状態で実施してください。

4. 電動ドリル (φ 3) にストッパーとなるようガムテープを巻き付ける。
5. ウェザーストリップとフロントドアウィンドウフレームに電動ドリルでマーキング箇所に下穴 (φ 3) を開ける。

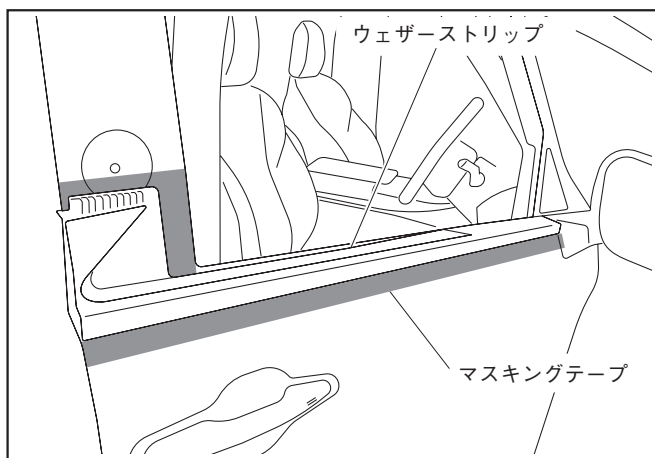


ST-BC-B04a

6. 下穴 (φ3) にホールソーでウェザーストリップとフロントドアウィンドウフレームに本穴(φ18)を開ける。
7. LH 側も同様に作業する。

⚠ 注意

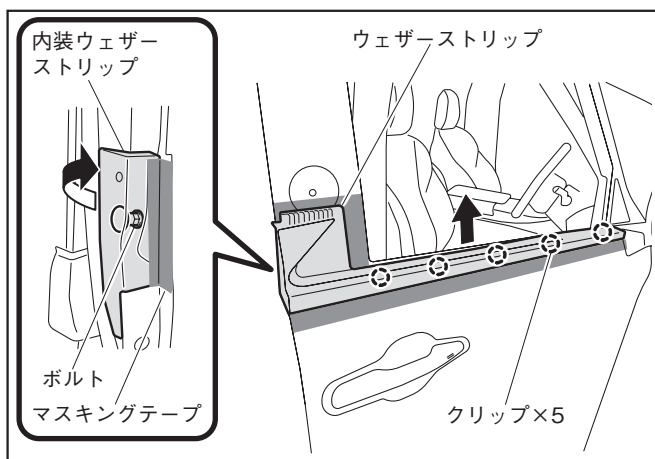
- (1) 電動ドリルを使用する際は、必ず保護メガネを着用してください。
- (2) 穴開け作業は、穴開け面に対して垂直に行ってください。
- (3) 電動ドリルを使用する際は、ドリル等への巻き込みを防止する為、手袋等を着用しないでください。
- (4) 図のように、ウェザーストリップと穴の寸法が取れていない場合はヤスリで削りサイドエンブレムイルミネーションとウェザーストリップが干渉しないようにしてください。



ST-BC-B07

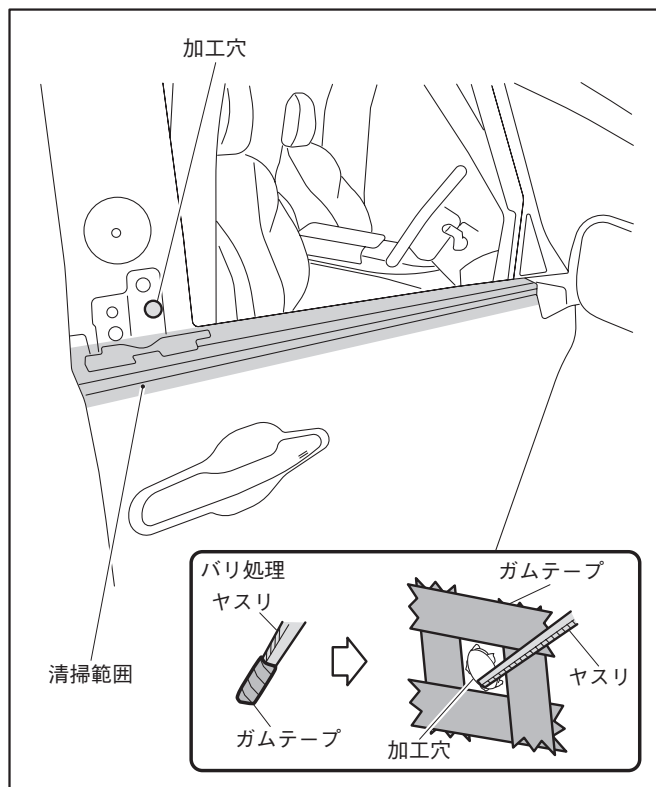
ウェザーストリップの取りはずし

1. 図中アミ掛け部にマスキングテープを 貼り付ける。



ST-BC-B08

2. 内装ウェザーストリップの端をマスキングテープで固定し、固定した反対側からめくりボルト (1 本) をはずす。
3. クリップ (5 箇所) の勘合をはずし、ウェザーストリップを取りはずす。
4. LH 側も同様に作業する。



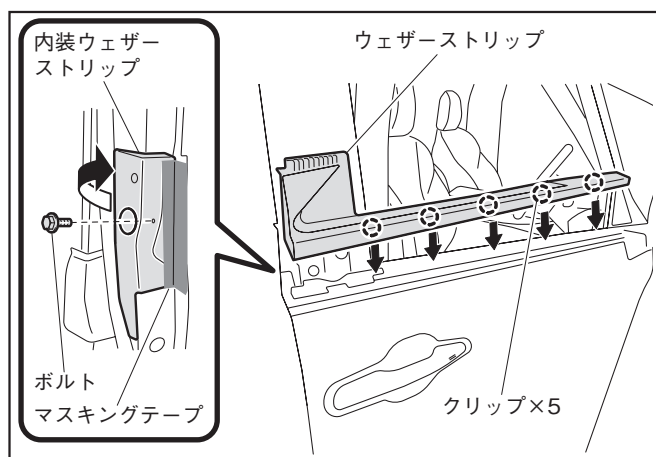
ST-BC-B09

錆止め処理及び切屑の除去

1. 車両傷付き防止の為、ヤスリの先端にガムテープを巻き付ける。
2. 加工穴のまわりにガムテープを貼付け、穴開けした箇所のバリ・エッジをヤスリで取り除く。
3. ウェザーストリップと車両ボデーについた穴あけ時の切屑を掃除機またはマグネットハンドで確実に除去する。
4. フロントドアウィンドウフレームの加工穴に防錆塗料（タッチアップペイント）で防錆処理を行う。
5. ガムテープ及び切屑受けを取りはずす。
6. LH 側も同様に作業する。

⚠ 注意

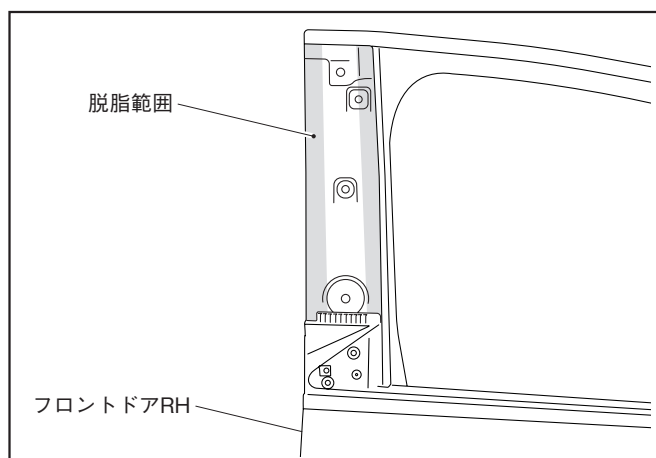
- (1) ボデー傷付けの原因となりますので、付着した切屑を取り除く際、手で擦ったりしないでください。
- (2) 切屑は、掃除機またはマグネットハンドで確実に除去してください。



ST-BC-B10

ウェザーストリップの復元

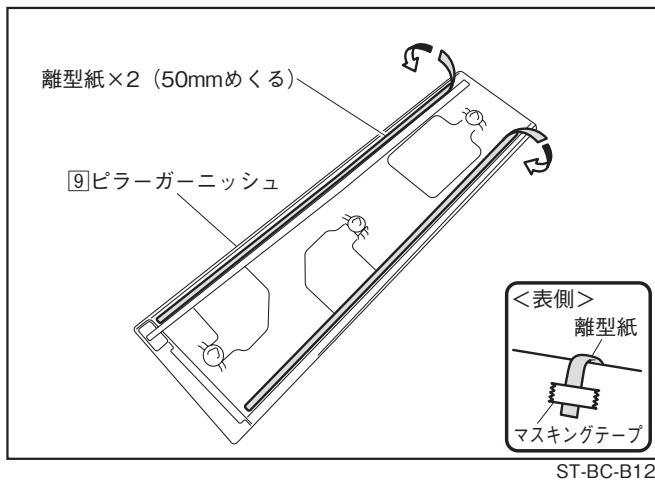
1. クリップ（5箇所）を勘合させ、ウェザーストリップを取り付ける。
2. 内装ウェザーストリップの端をテープで固定し、固定した反対側からめくりボルト（1本）で固定する。
3. LH 側も同様に作業する。



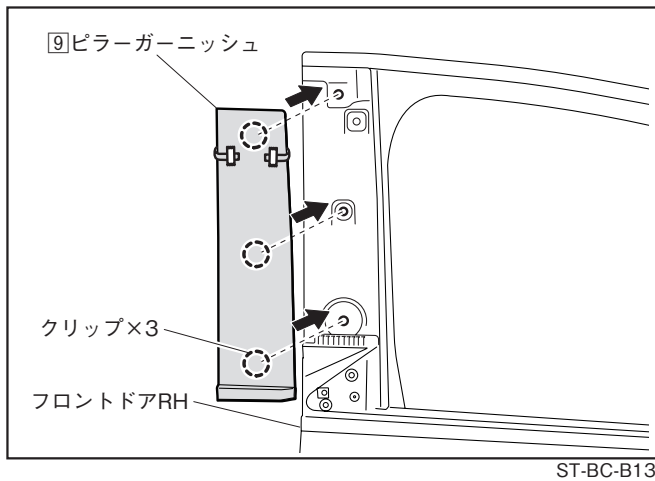
ST-BC-B11

ピラーガーニッシュの取り付け

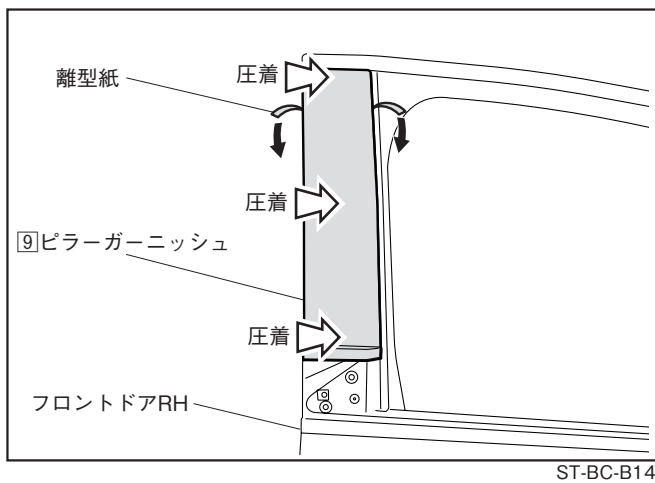
1. ⑨ ピラーガーニッシュの両面テープ貼り付け部を脱脂する。



- ⑨ ピラーガーニッシュの両面テープの離型紙の端末を 50mm 程度めくり、マスキングテープで表面に固定する。

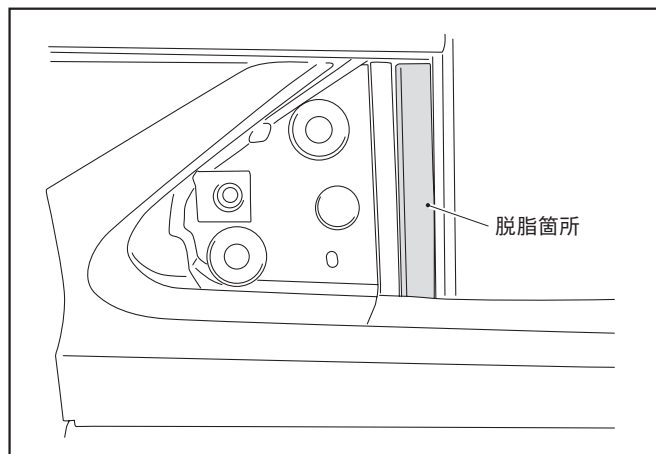


- クリップ (3 箇所) を勘合し、⑨ ピラーガーニッシュを車両に仮組みする。



- マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2 箇所) を矢印方向へ引き抜きながら両面テープ部 (2 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。
- LH 側も同様に作業する。

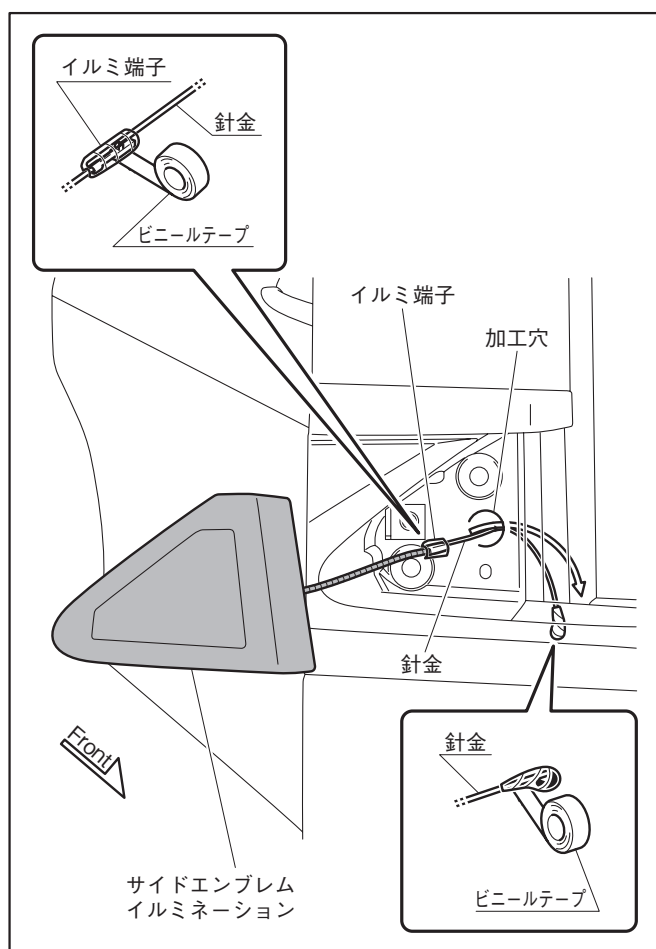
サイドエンブレムイルミネーション取り付け



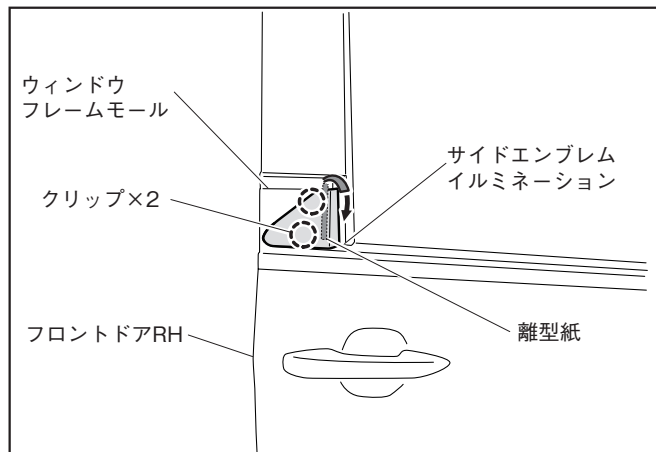
ST-BC-C10

サイドエンブレムイルミネーション取り付け

1. 取り付け面を脱脂、清掃する。



ST-BC-C08



ST-BC-C01a

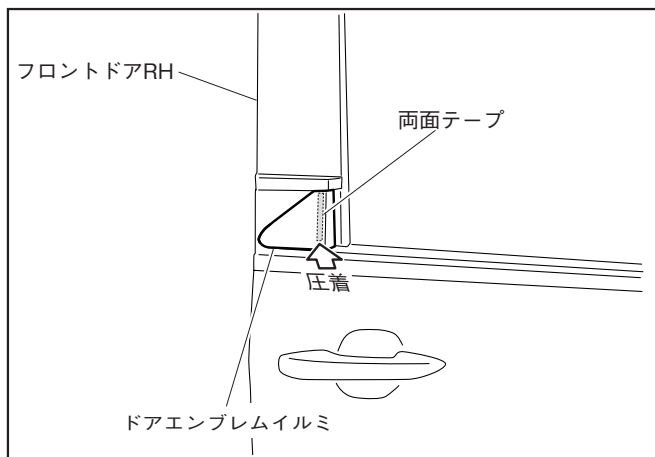
2. 針金（400 mm）の先端をまげてテーピングし、穴開けしたドアの穴から内へ針金を通す。

3. ハーネスのイルミ端子をビニールテープで針金の後端に固定する。

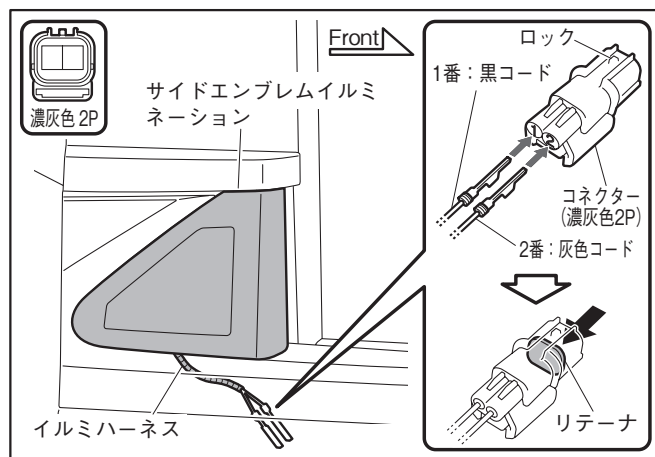
4. 針金をドア内へ引き込んで、ビニールテープで固定したハーネスのイルミ端子を通す。

5. 両面テープの離型紙先端をめくり、クリップ（2箇所）を嵌合させ、サイドエンブレムイルミネーションを取り付ける。

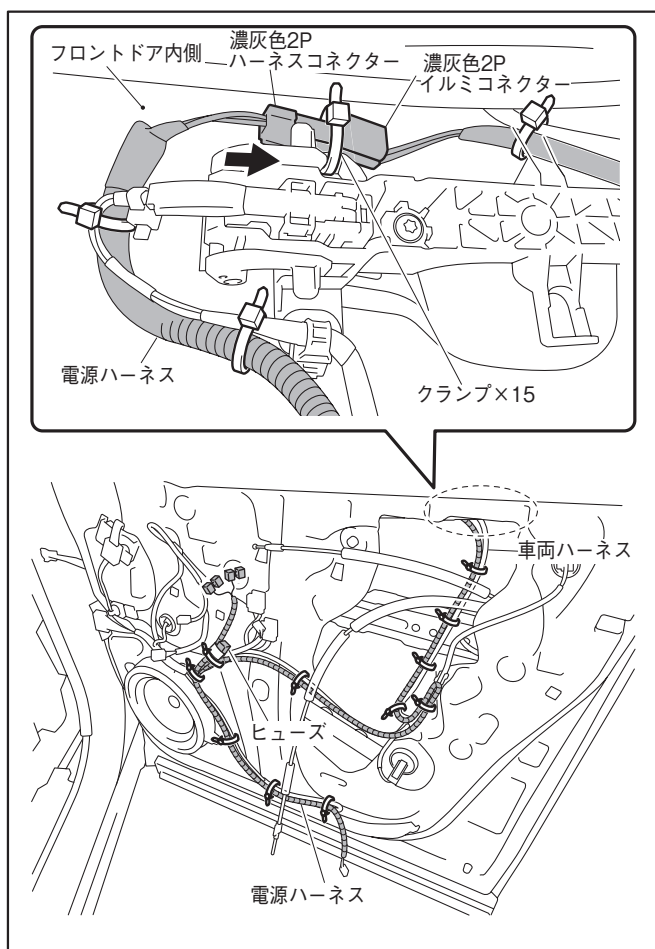
6. 図のように、ウィンドウフレームモールの端部とサイドエンブレムイルミネーションの端部が揃うように微調整をし、両面テープの離型紙を剥がす。



ST-BC-C02a



ST-BC-C09



ST-BC-C03

7. 両面テープ部を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

⚠ 注意

他のボデーを傷つけないよう注意して作業をしてください。

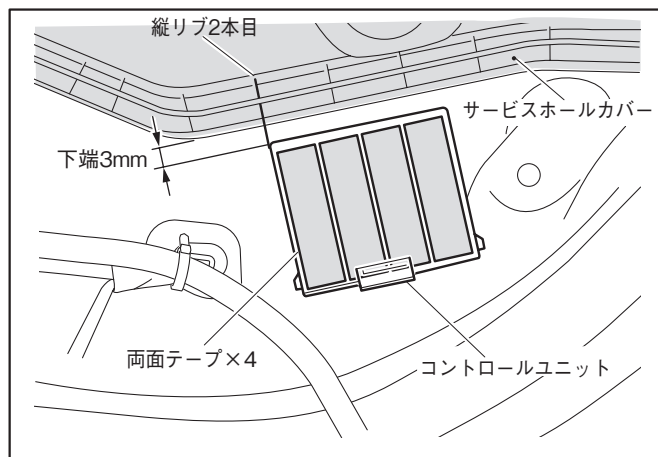
8. サイドエンブレムイルミネーションの端子2本を、付属のコネクタにセットする。

9. サイドエンブレムイルミネーションコネクタと電源ハーネスコネクタを接続する。

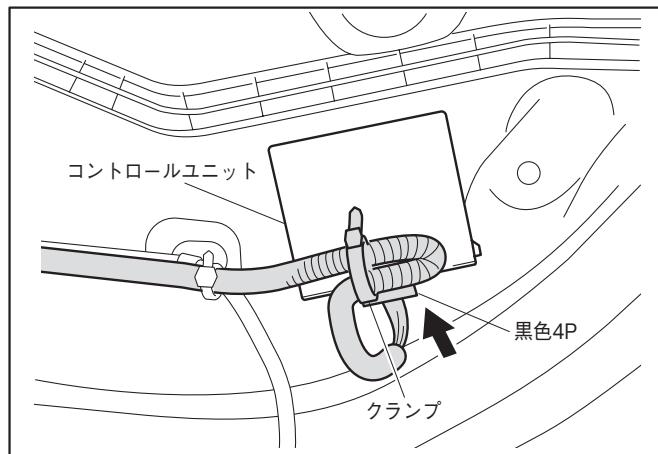
10. 図のようにクランプ (15 本) で電源ハーネスを車両ハーネスに固定する。

⚠ 注意

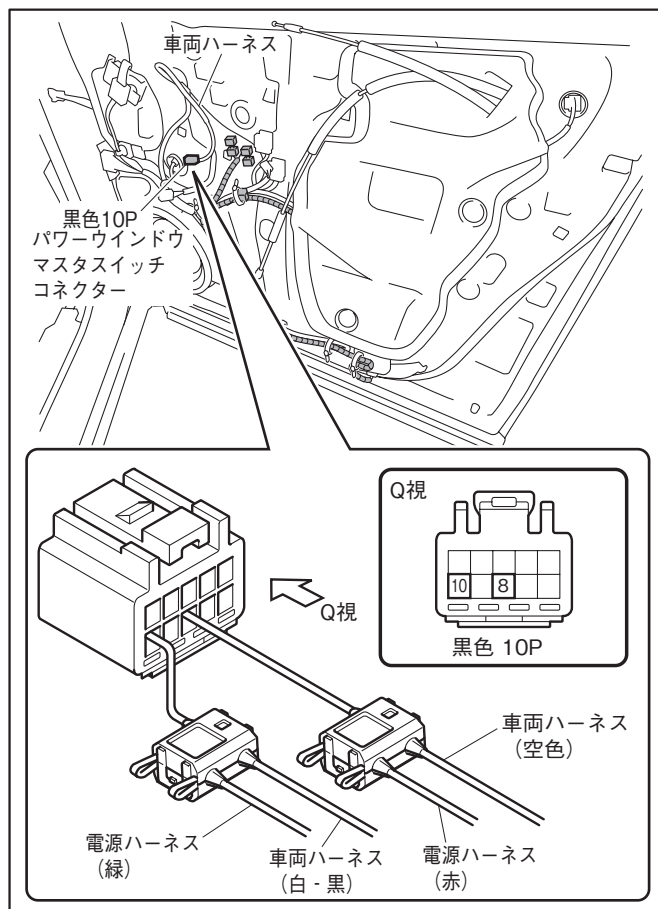
パワーウィンドウ可動範囲は電源ハーネスがパワーウィンドウに近づかないよう作業してください。



ST-BC-C04



ST-BC-C05



ST-BC-C11

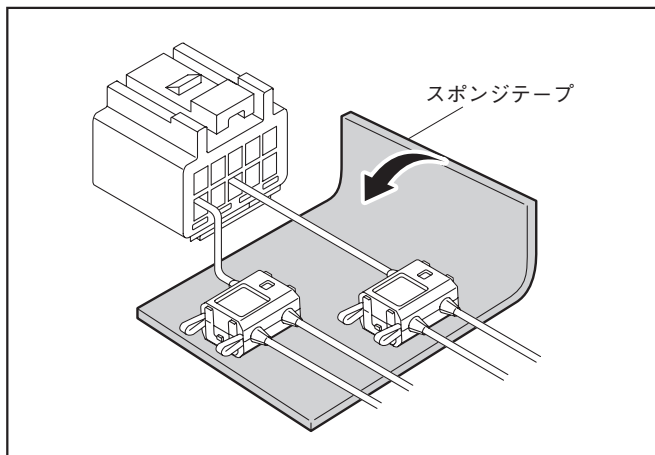
11. フロントドアサービスホールカバーを取り付ける。
12. 取り付け面を脱脂、清掃する。
13. 図の位置の両面テープ（4箇所）の離型紙を剥がし、コントロールユニットを固定する。

アドバイス

1. コントロールユニットの左端をサービスホールカバーの縦リブ2本目に合わせる。
2. コントロールユニットの上端をサービスホールカバー下端から 3mm の位置に合わせる。

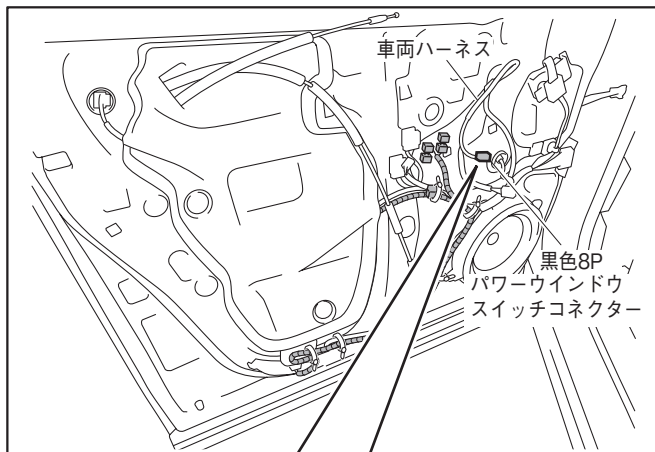
14. 電源ハーネスのコネクターを接続する。
15. コントロールユニットと電源ハーネスをクランプ（1本）で固定する。
16. LH 側も同様に作業する。

17. 図のようにサイドエンブレムイルミネーション RH の分岐コネクターをパワーウィンドウマスタスイッチの黒色（10P）コネクター 8 番コードに接続する。（運転席側）
18. 図のようにサイドエンブレムイルミネーション RH の分岐コネクターをパワーウィンドウマスタスイッチの黒色（10P）コネクター 10 番コードに接続する。（運転席側）



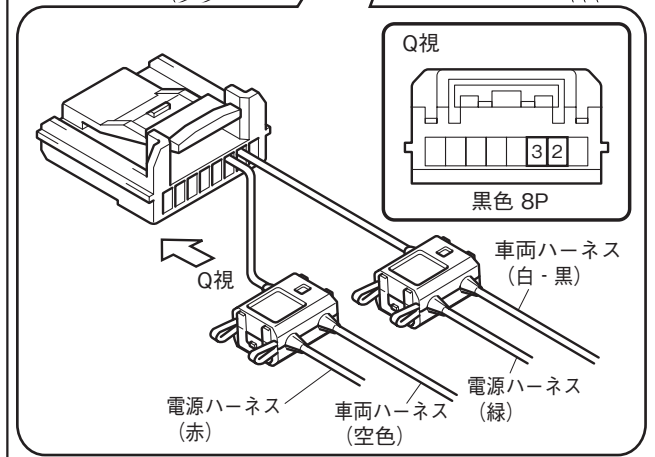
ST-BC-C13

19. 異音防止の為、分岐コネクタースポンジテープを巻き付ける。



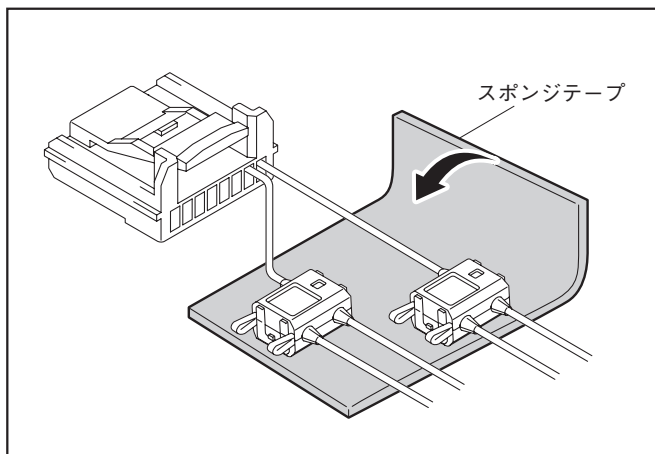
20. 図のようにサイドエンブレムイルミネーション LH の分岐コネクタをパワーウィンドウスイッチの黒色（8P）コネクタ 3 番コードに接続する。（助手席側）

21. 図のようにサイドエンブレムイルミネーション LH の分岐コネクタをパワーウィンドウスイッチの黒色（8P）コネクタ 2 番コードに接続する。（助手席側）



ST-BC-C12

22. 異音防止の為、分岐コネクタースポンジテープを巻き付ける。



ST-BC-C14

作動確認

1. バッテリー（マイナス）端子を接続してください。
2. 下表に従い、作動状態の確認を行ってください。
3. 正しく作動しない場合は、次項のトラブルシュートを行ってください。

⚠ 注意

点灯確認は、必ず車両を水平な場所に停車させパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行った上で作業してください。

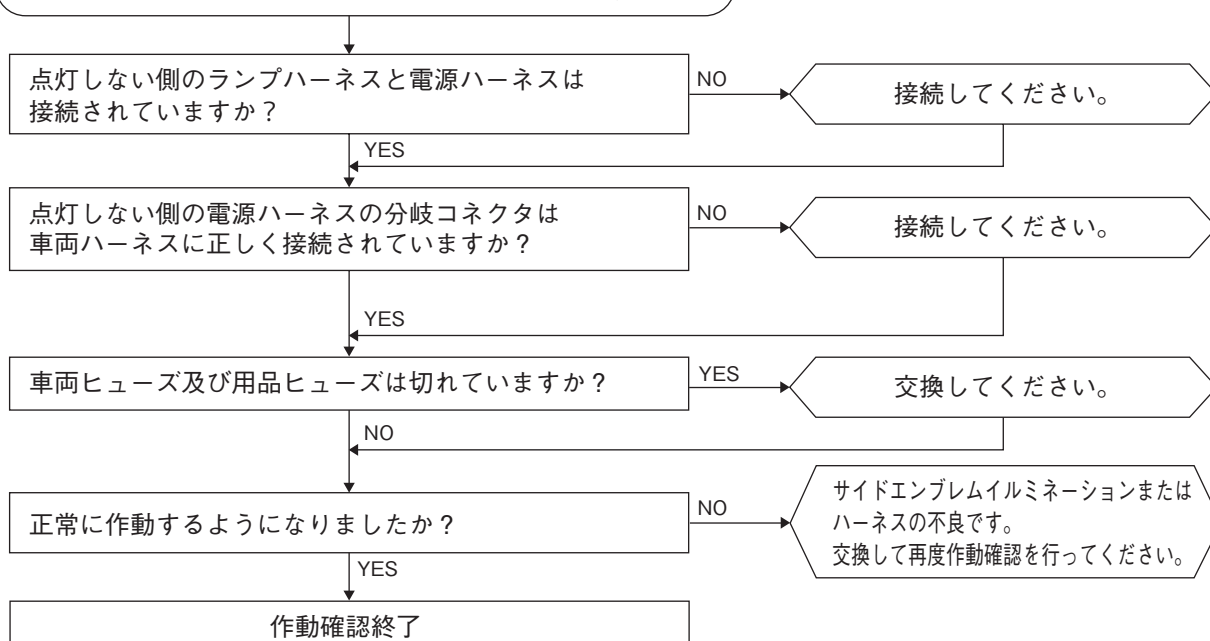
確認 順序	エンジンスイッチ	ヘッドランプ スイッチ	サイドエンブレム イルミネーション
1	OFF/ACC	OFF	消灯
2		ON	点灯
3	ON	OFF	消灯
4		ON	点灯

※ヘッドランプスイッチAUTOの場合はヘッドランプの点灯状態に従う

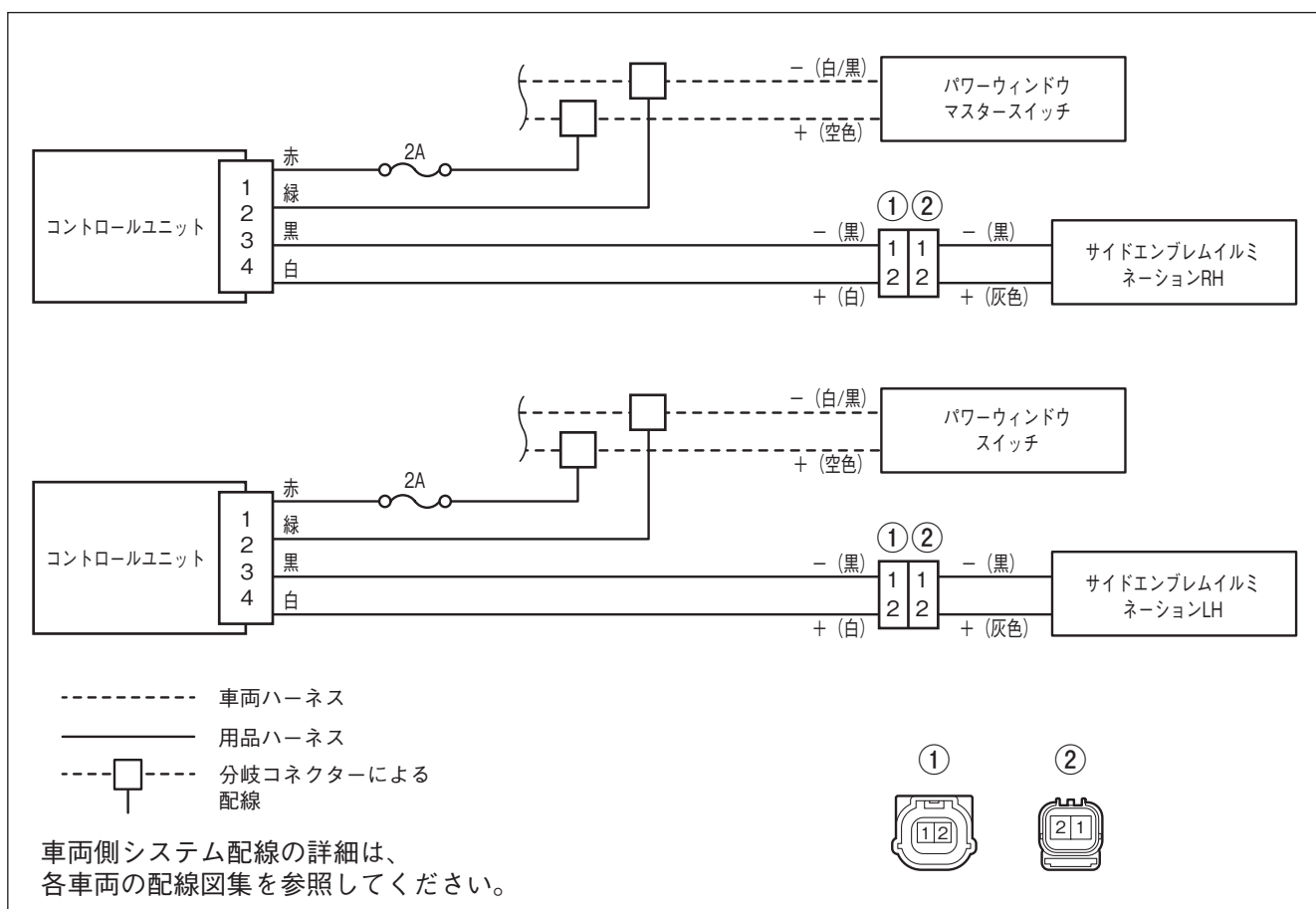
トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。

サイドエンブレムイルミネーションが正しく作動しない



配線図



復元作業

取りはずした車両部品を元通りに取り付けてください。

⚠ 注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ヘッドランプ、ホーン等、電気系統に異常がないか確認してください。

取り付け店殿へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。